

令和3年度 さいたま市立指扇北小学校 学校運営協議会による評価書

さいたま市立指扇北小学校
学 校 運 営 協 議 会
会長氏名 寺 島 篤

学校運営協議会による評価（協議会の委員の意見等）

- ・校長先生、教頭先生を筆頭に子どもたち並びに保護者に寄り添う姿勢が感じられ、とても好感が持てる。この取り組みが実を結び、まずは保護者が学校に戻ってくれることを期待してやまない。
- ・小学校、中学校ともにコロナ禍で様々な活動が制限される中、安全対策に配慮しながら、行事が増えることに児童生徒はいろいろな経験や思いを学ぶことができるようになり良かった。
- ・毎朝見守り活動の中で、子どもたちの「おはようございます」のあいさつが心から自然にできるようになったと感じられる。「いつも見守っていただき、ありがとうございます！」には、本当に感銘を受けた。
- ・小学校、中学校とも教育活動の場面、場面では、「人との関わり合いを大切にする」子どもたちに育っているように感じているが、SNS での友達間でのトラブルなどに見られるように多様性を排除した自分の居場所作りに熱心な姿勢には危惧を感じる。
- ・「学校生活が楽しい」という肯定的な回答の割合が年々高まっているとのことで評価できると思う。「様々な相談に誠実に対応している」の肯定的な回答が児童において過去3年間で、一番高いということは取り組みの成果が出ていると思う。
- ・小学校の「いじめ防止に努めている」の保護者の「そう思う」が低めなのは具体的に何をしているのか、伝わっていないからだと思う。
- ・上級生が下級生のお世話をとてもよくしてくれるのは伝統的に続いていて、素晴らしいことだと思う。

学校運営協議会による評価を受けた学校の対応

- ・「児童、保護者の気持ちに寄り添う」を合言葉に、一層、広い視野を持って子どもたちの内面を共感的に理解しながら、子どもたちや保護者に接する取組について、一定の評価をしていただいた。しかし、教職員と保護者・児童の評価には、開きがあるため、今後もこの取組を続けていく。
- ・「学校生活が楽しい」という肯定的な回答の割合が年々増えていることは、コロナ禍で様々な活動が制限される中、感染症対策をしっかりと行いながら工夫して学校行事を実施できたことだけでなく、学習や生活の基盤となる学級において、教師と児童との信頼関係及び児童間のよりよい人間関係の構築、落ち着いた学習環境づくり、望ましい学習習慣の形成に力を入れてきたことも大きいと考える。今後も、「あかるく たのしく たくましく」の学校教育目標の具現化に向け、教職員が一丸となって教育活動に取り組んでいく。
- ・学校における場面、場面において「人との関わり合いを大切にする」子どもたちに育ってきていると評価していただいたので、今後も、学校として、「地域の教育力を生かした活動」「心を潤す4つのことばの推進」の取組を継続するとともに、保護者、地域とも協働していけるよう工夫していきたい。

校長氏名 加 納 浩 美